

ペールバキュームポンプ・クリーナー

取扱説明書

ポンプ・クローズ缶用

■ APPQシリーズ

ポンプ・オープン缶用

■ APPQOシリーズ

■ APPQO—Hシリーズ

クリーナー・オープン缶用

■ APPQO400・APPQO550シリーズ

■ APPQO400S・APPQO550Sシリーズ

■ AVC—550SUSシリーズ

目次

1. 安全上の注意.....	1
2. ご使用になる前に.....	1
3. 仕様一覧表.....	4
4. 使用方法.....	5
5. こんなときには... ..	1 1
6. 外形寸法.....	1 2
7. 保証・アフターサービスについて.....	1 5

1. 安全上の注意

この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。
ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解してください。

(誤った使用方法是事故等の原因となります。)

取扱説明書は大切に保管し、いつでも見られるようにしておいてください。



警告

誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

2. ご使用になる前に



警告



★全機種ともに本体の材質上、腐食のおそれのある酸、アルカリ、アスベストやダイオキシン類など人体に有害な物質にはご使用できません。

★爆発性物質は吸入しないでください。

粉塵爆発の危険性のあるもの、引火性液体にはご使用いただけません。



★火気厳禁でご使用ください。

発火の危険性のある液体・場所では静電気による引火・火災の恐れがありますので、必ず本体及びノズルに、アースを取り付けてください。



★本製品はペール缶用に設計されています。それ以外の缶や用途には使用しないでください。

使用するペール缶は傷みの少ないもので縁・口金に変形のない肉厚のものをご用意ください。作動しない場合や、缶が変形する場合があります。

※APPQシリーズは一斗缶にもご使用できます。

※APPQシリーズ以外のシリーズでは、別売のドラム缶用天板を取り付けることで、ドラム缶でも使用可能です。

★使用圧力は0.4～0.6MPaが適当です。圧力が高いと真空度が上がり、缶が変形して大変危険です。



★**分解や修理・改造は絶対に行わないでください。**

修理技術者以外の方は、分解や修理・改造は絶対に行わないでください。
保証対象外となります。



★**液体を替える時は、必ず前の液体を完全に拭いて洗浄してから、新しい液体を使用してください。液体が混ざると、化学反応を起こす場合があります。**

★**使用液体温度**

使用可能液体温度は0～60℃です。それ以上の温度の液体を吸引するとホースや内部パッキン等が変形する可能性があります。

注意



★**点検・修理をご依頼ください。**

作動しなくなったり、異常がある場合は事故防止の為、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。そのまま使用されると、事故やけがの原因になる恐れがあります。



★**本体に衝撃を与えないでください。**

各部が正常に作動しなくなる恐れがあります。また、故障や液漏れの原因になります。



★**ポンプを缶に取り付けた後、外れないか確認してください。**

★**エアホースは、3/8以上の太いホースをご使用ください。ホースが細いと圧力が落ちて機能が低下します。**

★**エアを注入するとエア排気口からエアが吐出されます。排気口の向きには十分注意してください。**

★**水分を嫌う液体を扱う場合、圧縮空気の中の水分をエアフィルタ等で取り除いてください。**

当社推奨品 (オプション)
CKD 製エアフィルタ F-1000-8-W

★**満タンになる直前は、液体が吐出エアに混じって吹き出る場合があります。**

★**ヘドロや金属粉など混入している流体を取り扱う場合、混入異物の大きさはホース及び本体を通過可能な大きさで、1cmが限度です。**

.....
★エアカップリングプラグ内にストレーナが入っています。

ストレーナにゴミ等が詰まると機能が低下しますので、時々石鹼水等で洗浄してください。ストレーナは変形防止のためプラグから抜き取らないでそのまままで洗浄してください。

.....

★使用後は必ず製品内部の液体を抜き出してください。

内部に残液があると、腐敗や化学変化を起こしたり、サビ付き等がおこり、故障や性能不良の原因となります。

.....

★移設したり、取扱責任者が変わった場合は本書を製品に添付するか、譲渡してください。

.....

★ 本書を紛失、損傷した場合には当社または、販売店に発注してください。

.....

★この製品を設置された業者の方、あるいは販売された方は本書を実際に取り扱う方まで必ず届けてください。

.....

○本取扱説明書で示す重要な安全指示項目は、起こりうる全ての状態を表しているものではありません。製品の安全性には十分気を配っておりますが、操作される方や保守を行う方も、安全には十分な注意・配慮をお願いします。

3. 仕様一覧表

頁	シリーズ	型 式	本体材質	パッキン材質	ホース材質	回収物	オイルストッパー (フロート球)
ポンプ	P5 APPQ	APPQ	アルミ	フッ素ゴム	PVC	オイル	有
		APPQG		耐油性PVC	灯油・軽油		
		APPQAS		内面PP三層	溶剤※		
	P6 APPQO	APPQO		NBR	PVC	オイル	有
		APPQOG		NBR	耐油性PVC	灯油・軽油	
		APPQOAS		フッ素ゴム	内面PP三層	溶剤※	
	P7 APPQO-H	APPQO-H		NBR	PVC	オイル	有
		APPQO-HG		NBR	耐油性PVC	灯油・軽油	
		APPQO-HAS		フッ素ゴム	内面PP三層	溶剤※	
クリーナー	P8 APPQO400	APPQO400	アルミ	NBR	PVC	オイル・切削油・ ゴミ・切粉	有
		APPQO400G		NBR	耐油性PVC	灯油・軽油	
		APPQO400AS		フッ素ゴム	内面PP三層	溶剤※	
	P9 APPQO400S	APPQO400S		NBR	PVC	オイル・切削油・ ゴミ・切粉	なし
	P8 APPQO550	APPQO550		NBR	PVC	オイル・切削油・ ゴミ・切粉	有
	P9 APPQO550S	APPQO550S		NBR	PVC	オイル・切削油・ ゴミ・切粉	なし
P10 AVC-550SUS	AVC-550SUS	ステンレス	NBR	PVC	水・水溶性液体	有	

※溶剤をご使用の場合は、材質を侵さないものに限りです。

※切粉は100μm以上、1cm以下のものが回収可能です。



4.使用方法

バキュームポンプ

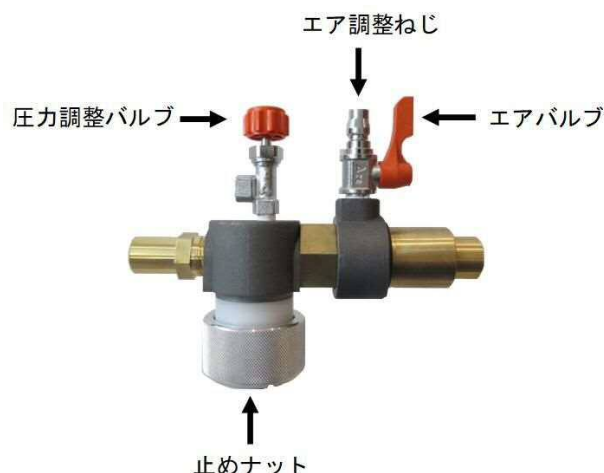
APPQシリーズ(クローズ缶吸入用)使用方法

使用条件 (出荷時)

- ペール缶・一斗缶 : 口金口径 40 mm のクローズ缶
- エア調整ねじ : 青色 (1 mm 穴)
- 圧力調整バルブ : 全閉
- コンプレッサー : 1 馬力以上
- 入力エア圧力 : 0.4 ~ 0.6 MPa

使用方法

- ① 止めナットを緩め、缶の口金に本体を差し込みます。
- ② 止めナットをねじ込み、ポンプを固定します。
- ③ エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ④ エアバルブを開くと、ホース先端ノズルから液体を吸入できます。
入力エア圧力により「エア調整ねじ」と「圧力調整バルブ」を調整してください。
- ⑤ 缶が満タン (ペール缶の場合約 18 L・一斗缶の場合約 16 L) になれば、自動的に吸入が止まります。
- ⑥ 液体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑦ エアホースを取り外してください。
- ⑧ 止めナットを緩め、本体を缶から取り外してください。
- ⑨ 缶に専用の蓋をしてください。



※吸入力が弱い場合

エア調整ねじを赤色 (4 mm 穴、付属品) に交換してください。
交換方法は、エア接続口にあるエア調整ねじ (青色、1 mm 穴) を付属の六角レンチで外して交換してください。

※入力エア圧力が 0.6 MPa 以上の場合

エア調整ねじを青色 (1 mm 穴) で使用してください。
ペール缶が凹む場合がありますので、圧力調整バルブを全開にし、バルブを全開より徐々に閉じながらペール缶内の圧力を調整し、凹まないようにしてください。

【注意】

- ・必ずクローズ缶でご使用ください。
- ・APPQASポンプは、パッキンの一部にフッ素ゴムを使用しております。フッ素ゴムを腐食する液体でご使用の場合は、オプションでパーフロゴム (FFKM) がございます。お問い合わせください。

バキュームポンプ

APPQOシリーズ(オープン缶吸入用)使用方法

使用条件（出荷時）

ペール缶	: オープン缶
エア調整ねじ	: 赤色（4 mm穴）
圧力調整バルブ	: 全閉
コンプレッサー	: 1馬力以上
入力エア圧力	: 0.4～0.6 MPa



使用方法

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリと入るようにセットします。
- ②「エアバルブ」を閉じた状態、「圧力調整バルブ」を開いた状態（反時計回りで開きます）にして、エアホースを接続します。
注意）圧力調整バルブが閉じた状態ですと、液体吸入時にペール缶が変形する場合があります。
- ③エアバルブを開くと、ホース先端ノズルから液体を吸入できます。
液体の吸入力を強めたい場合は、液体を吸入しながら、「圧力調整バルブ」をご使用のペール缶の強度に合わせて徐々に閉め、最適な状態でご使用ください。
注意）なお吸入終了時は、必ず「圧力調整バルブ」を全開状態に戻しておいてください。
- ④液体を吸入してください。缶が満タン（約18L）になれば自動的に吸引は止まります。
- ⑤液体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑥エアホースを取り外してください。
- ⑦本体をペール缶から取り外してください。
- ⑧エアカップリングプラグ内にストレーナが入っています。ストレーナにゴミが詰まると機能が低下しますので、時々石鹼水等で洗浄してください。ストレーナは変形防止のため、プラグから抜き取らないでそのまま洗浄してください。

※缶が凹む場合

エア調整ねじを青色（1mm穴、付属品）に交換してください。

交換方法は、エア接続口にあるエア調整ねじ（赤色、4mm穴）を付属の六角レンチで外して交換してください。圧力調整バルブを全開にし、バルブを全開より徐々に閉じながらペール缶内の圧力を調整し、凹まないようにしてください。

【注意】

必ずオープン缶でご使用ください。

バキュームポンプ

APPQO-Hシリーズ使用

使用条件（出荷時）

- ペール缶 : SUS専用缶（APPQO-SK）推奨。
 一般のペール缶では真空度が高く潰れます。
- コンプレッサー : 5馬力以上
- 入力エア圧力 : 0.4～0.6MPa

使用方法（P13外形図参照）

- ①SUS専用缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリと入るよう
にセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体を吸入できます。
- ④液体を吸入する場合、缶が満タン（約17L）になれば自動的に吸入は止まります。
- ⑤液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑥エアホースを取り外してください。
- ⑦本体をSUS専用缶から取り外してください。

【注意】

（入力エア圧力）

- 0.4MPa以下の場合、吸入力が弱く吸い込まない場合があります。
- 0.6MPa以上の場合、ペール缶が潰れる可能性があります。必ず0.6MPa以下で
ご使用ください。

バキュームクリーナー

APPQ0400・APPQ0550シリーズ使用方法

使用条件（出荷時）

- ペール缶 : オープン缶
コンプレッサー : APPQ0400 3馬力以上
 APPQ0550 5馬力以上
入力エア圧力 : 0.4～0.6MPa

使用方法（P13・14外形図参照）

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリと入るようにセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ④液体を吸入する場合、缶が満タン（約17L）になれば自動的に吸入は止まります。（粉体の場合は止まりません。）
- ⑤液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑥エアホースを取り外してください。
- ⑦本体をペール缶から取り外してください。

【注意】

（粉体を吸入する場合）

必ずオプションのフィルタ（APPQ0550には標準で付属しています。）を取り付けて使用してください。フィルタを取り付けない場合は、吸入した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

（入力エア圧力）

0.4MPa以下の場合、吸入力が弱く吸い込まない場合があります。

0.6MPa以上の場合、ペール缶が潰れる可能性があります。必ず0.6MPa以下でご使用ください。

【付属品について】

- ・APPQ0550には、角ノズルが付属します。
- ・APPQ0550掃除機セットの場合は、20Lオープンペール缶（スチール）と、ペール缶用キャリー、T型ノズルセット、スチールペール缶専用バンド（BAND-P）が付属します。

バキュームクリーナー

APPQO400S・APPQO550Sシリーズ使用方法

SタイプはAPPQO400・APPQO550シリーズにオイルストッパーが付属しない仕様となっております。

使用条件（出荷時）

ペール缶	: オープン缶
コンプレッサー	: APPQO400S 3馬力以上 APPQO550S 5馬力以上
入力エア圧力	: 0.4～0.6MPa

使用方法（P14・15外形図参照）

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリと入るようにセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ④液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑤エアホースを取り外してください。
- ⑥本体をペール缶から取り外してください。

【注意】

（液体を吸入する場合）

缶に液体が一杯になっても吸入は止まりません。液体吸入量には十分注意してください。缶内に液体が一杯になった状態で吸入を続けると、エア排気口から液体がミスト状になって噴出します。缶が満タン（約17L）になり自動的に吸入を停止させたい場合には、オプションのオイルストッパーを取り付けてください。

（粉体を吸入する場合）

必ずオプションのオイルストッパーとフィルタを取り付けて使用してください。フィルタがない状態ですと、吸入した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

（入力エア圧力）

- 0.4MPa以下の場合は、吸入力が弱く吸い込まない場合があります。
- 0.6MPa以上の場合は、ペール缶が潰れる可能性があります。必ず0.6MPa以下でご使用ください。

バキュームクリーナー

AVC-550SUSシリーズ使用方法

使用条件（出荷時）

- ペール缶 : SUS専用缶推奨（一般ペール缶でも使用可能）
コンプレッサー : 5馬力以上
入力エア圧力 : 0.4～0.6MPa

使用方法（P15外形図参照）

- ①ペール缶の上に本体を載せ、本体裏のゴムパッキンの溝にペール缶の縁がピッタリと入るようにセットします。
- ②エアバルブを閉じた状態で、エアホースを接続します。
- ③エアバルブを開くとホース先端ノズルから液体または粉体を吸入できます。
- ④液体を吸入する場合、缶が満タン（約17L）になれば自動的に吸入は止まります。（粉体の場合は止まりません。）
- ⑤液体または粉体を吸入し終わったらエアバルブを閉めてください。
- ⑥エアホースを取り外してください。
- ⑦本体をペール缶から取り外してください。

【注意】

（粉体を吸入する場合）

必ずオプションのフィルタを取り付けて使用してください。フィルタがない状態ですと、吸入した粉体がエア排気口から噴出する場合があります。

（入力エア圧力）

0.4MPa 以下の場合、吸入力が弱く吸い込まない場合があります。

0.6MPa 以上の場合、ペール缶が潰れる可能性があります。必ず0.6MPa 以下で使用ください。

【付属品について】

- ・AVC-550SUSには角ノズルが付属します。
- ・AVC-550SUS掃除機セットの場合は、20Lペール缶（SUS）と、SUS缶用キャリア、T型ノズルセットが付属します。

5.こんなときには・・・

1. 吸入しない

- コンプレッサーは動いていますか？
- エアホースは、しっかりと接続されていますか？
- エアバルブは、開いていますか？
- ポンプがペール缶に密着していますか？（押し付けてみてください）
- ペール缶の口金に変形していませんか？
- 缶内が回収物で一杯になっていませんか？
- フィルタが目詰まりしていませんか？
- ホースや吸入口に回収物が詰まっていませんか？
- ゴムパッキンの劣化、または傷がありませんか？

2. 吸入量が少ない

- エアホースは指定の口径のものを使用していますか？
- エア圧力は低くないですか？（0.4～0.6Mpa）
- 缶からエアが漏れていませんか？
（ペール缶と本体がピッタリ入っていますか？ペール缶にキズやヘコミはありませんか？）
- エアバルブは全開ですか？
- ホース破れやノズル割れが起きていませんか？
- 液体の粘度は高くないですか？
- コンプレッサーの馬力は足りていますか？
- ゴムパッキンの劣化、または傷がありませんか？

3. 缶が変形する

- エア圧力が高すぎないですか？
- エア調整ネジは、エア圧力に対し正しいものが入っていますか？
- ペール缶の強度は、十分ですか？

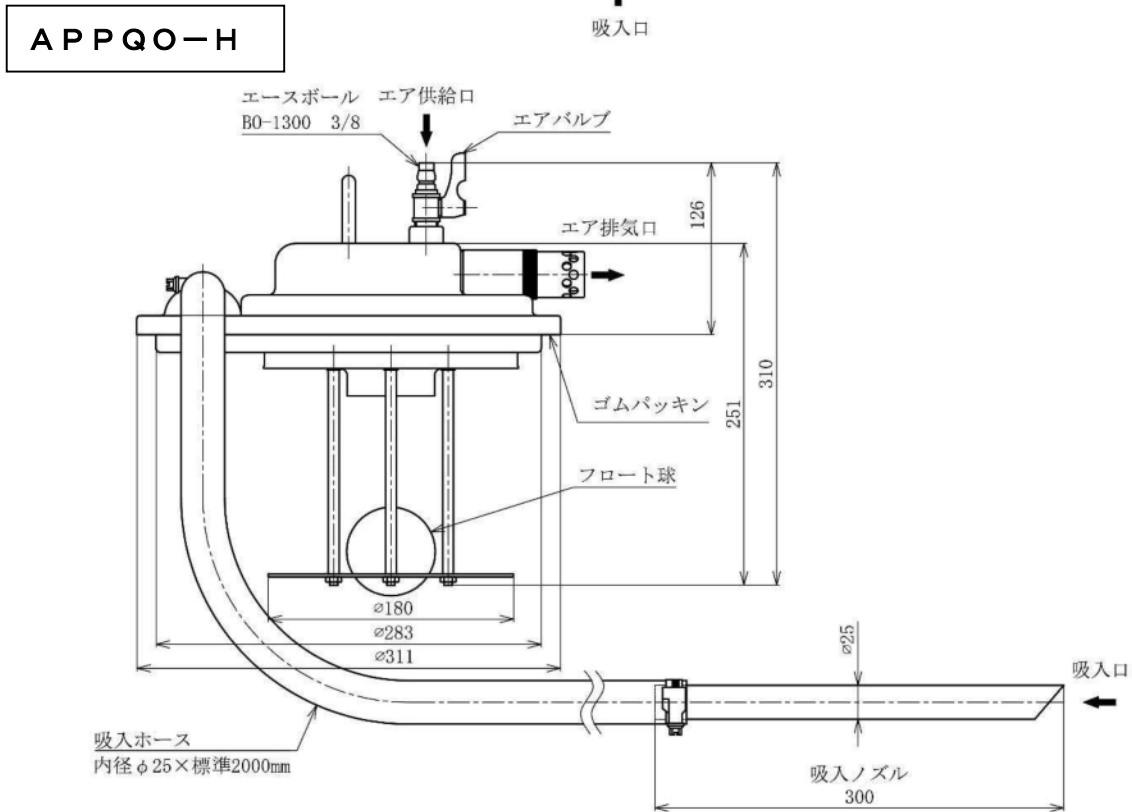
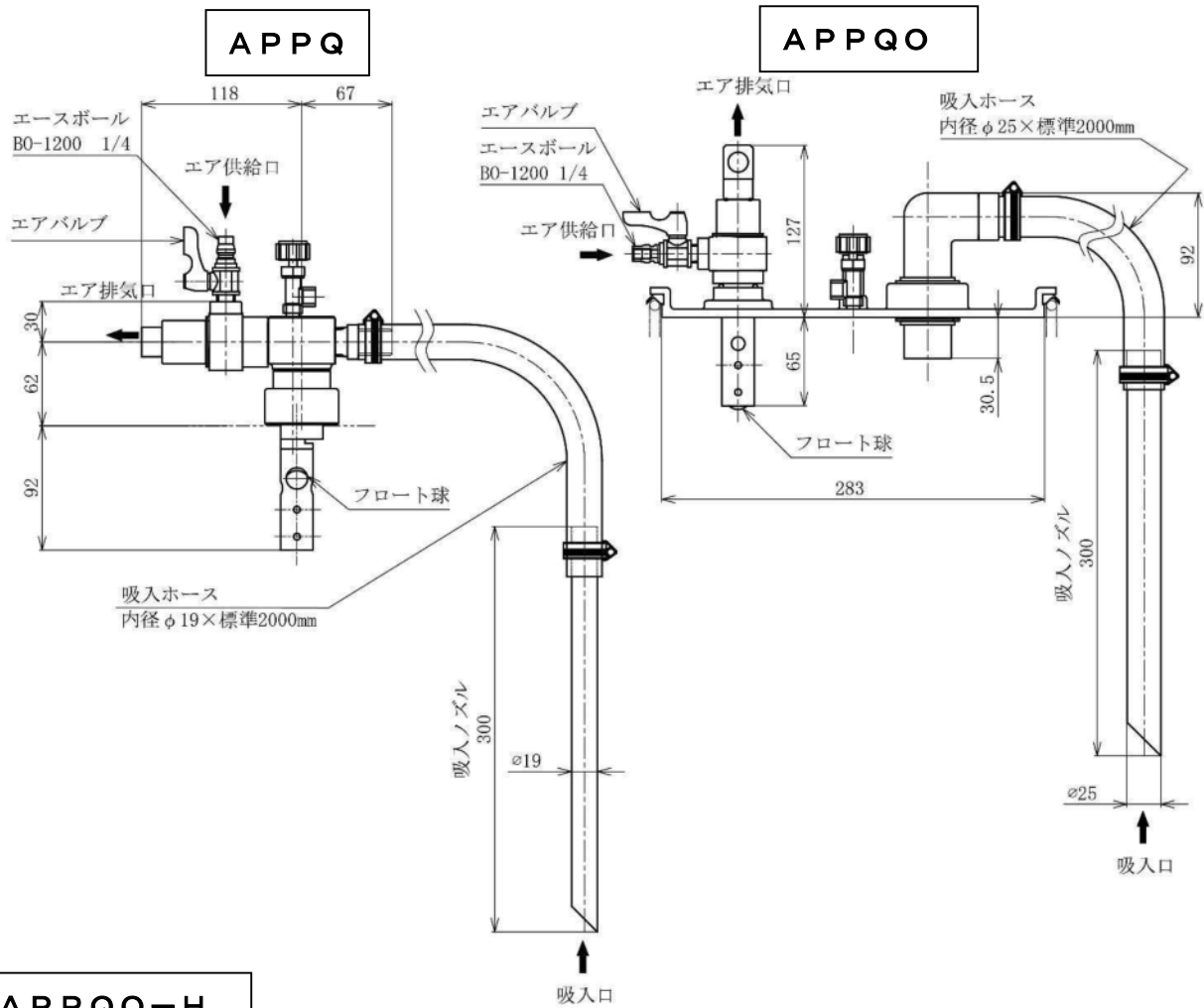
詳しくはホームページのよくある質問をご覧ください。

<http://www.aqsys.co.jp/>

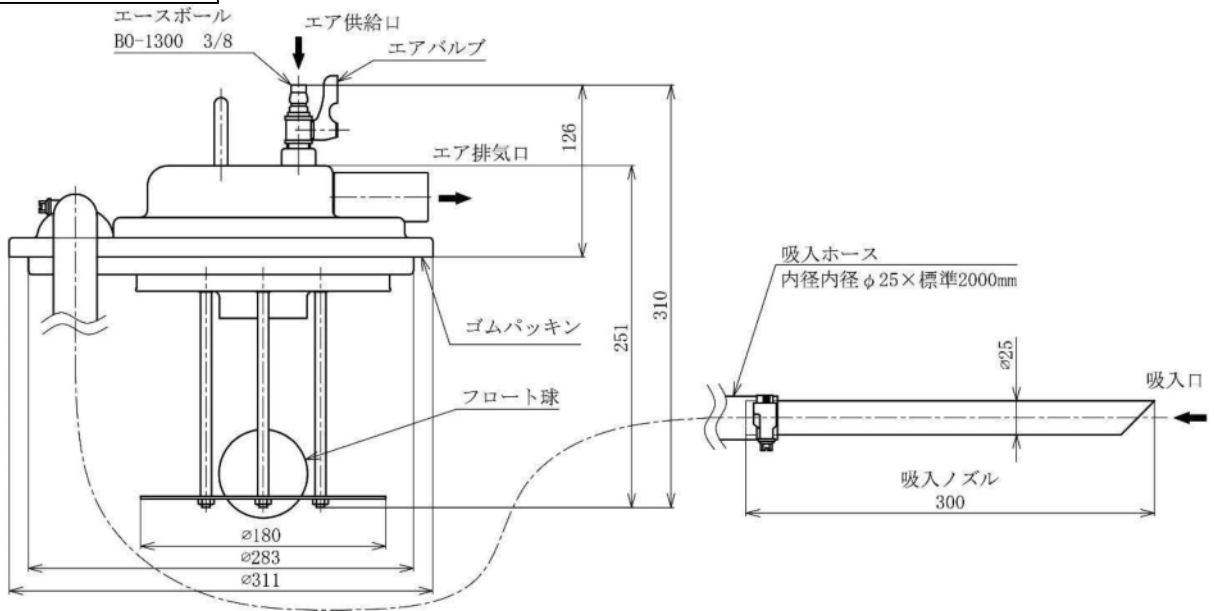


その他不具合につきましてはお客様で分解せずに、弊社修理受付係もしくはご購入されました販売店への問い合わせをお願い致します。

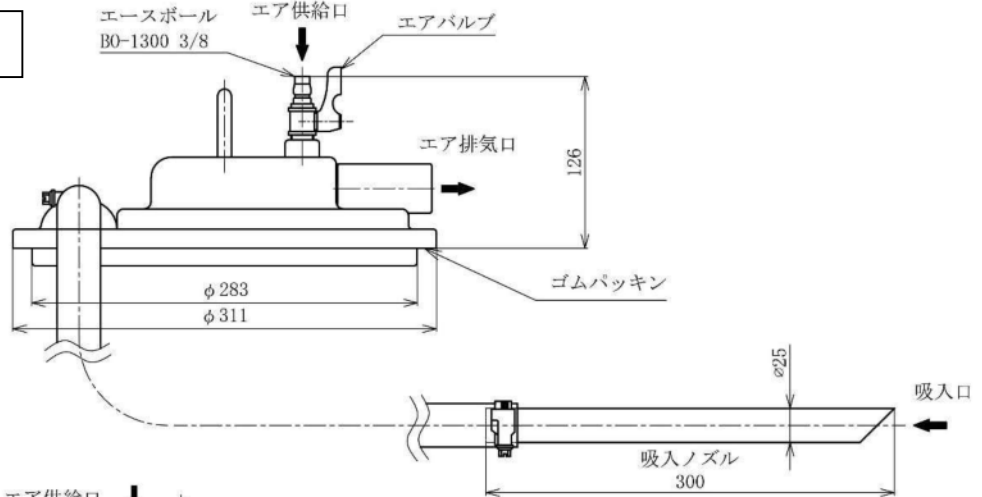
6. 外形寸法



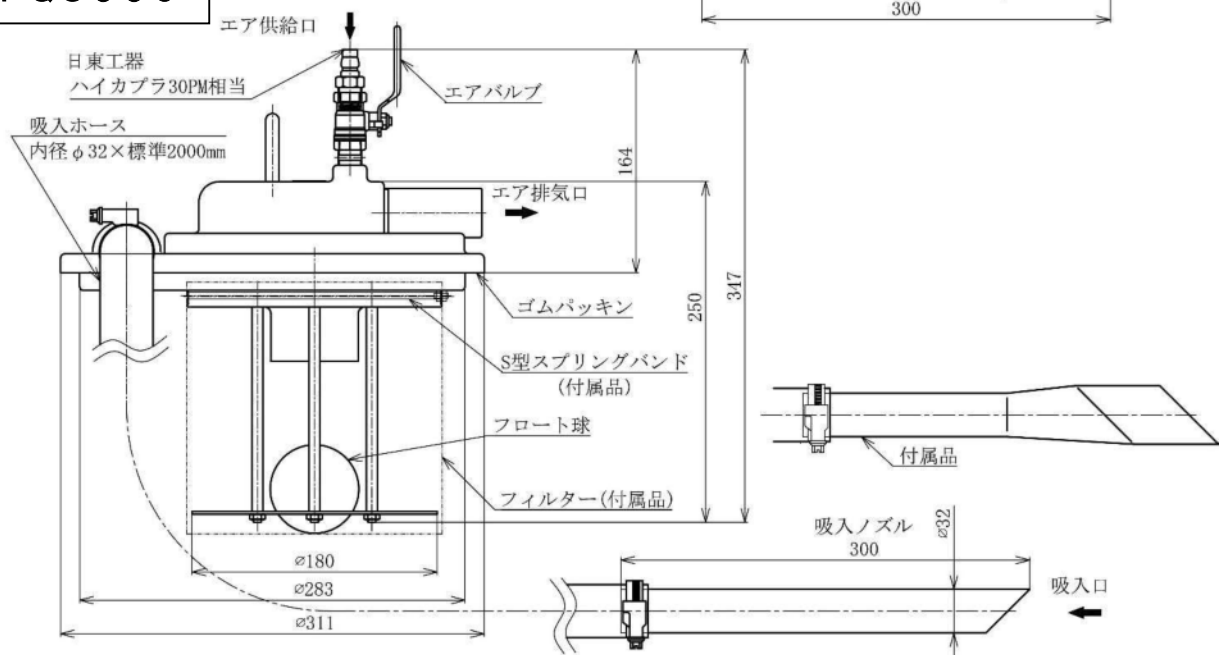
APPQO400



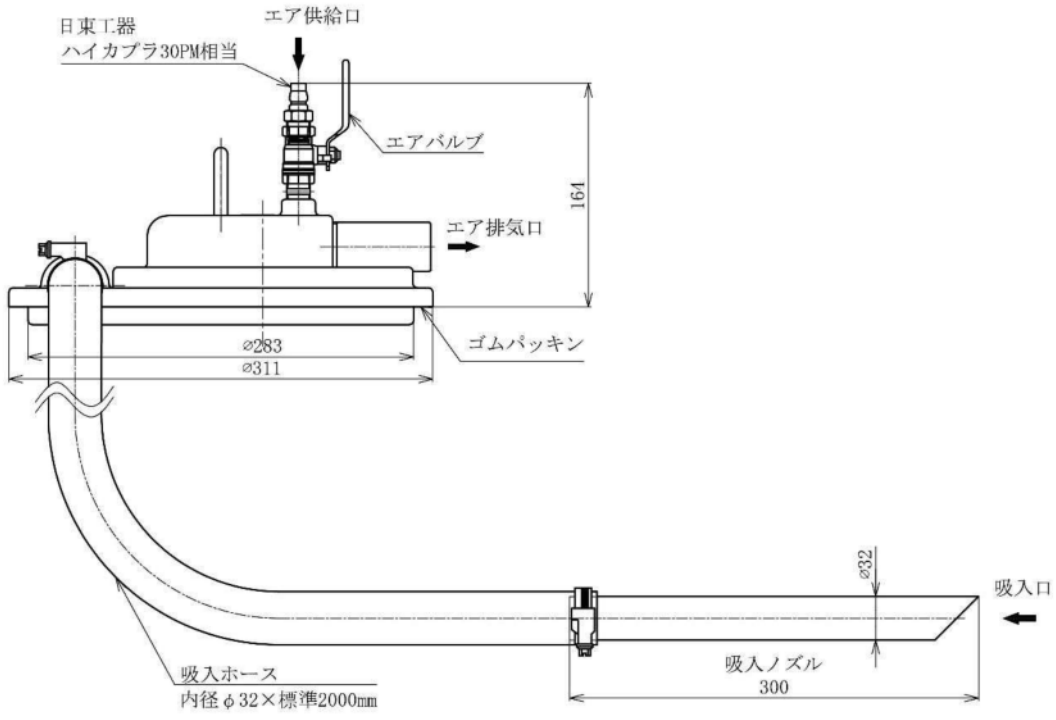
APPQO400S



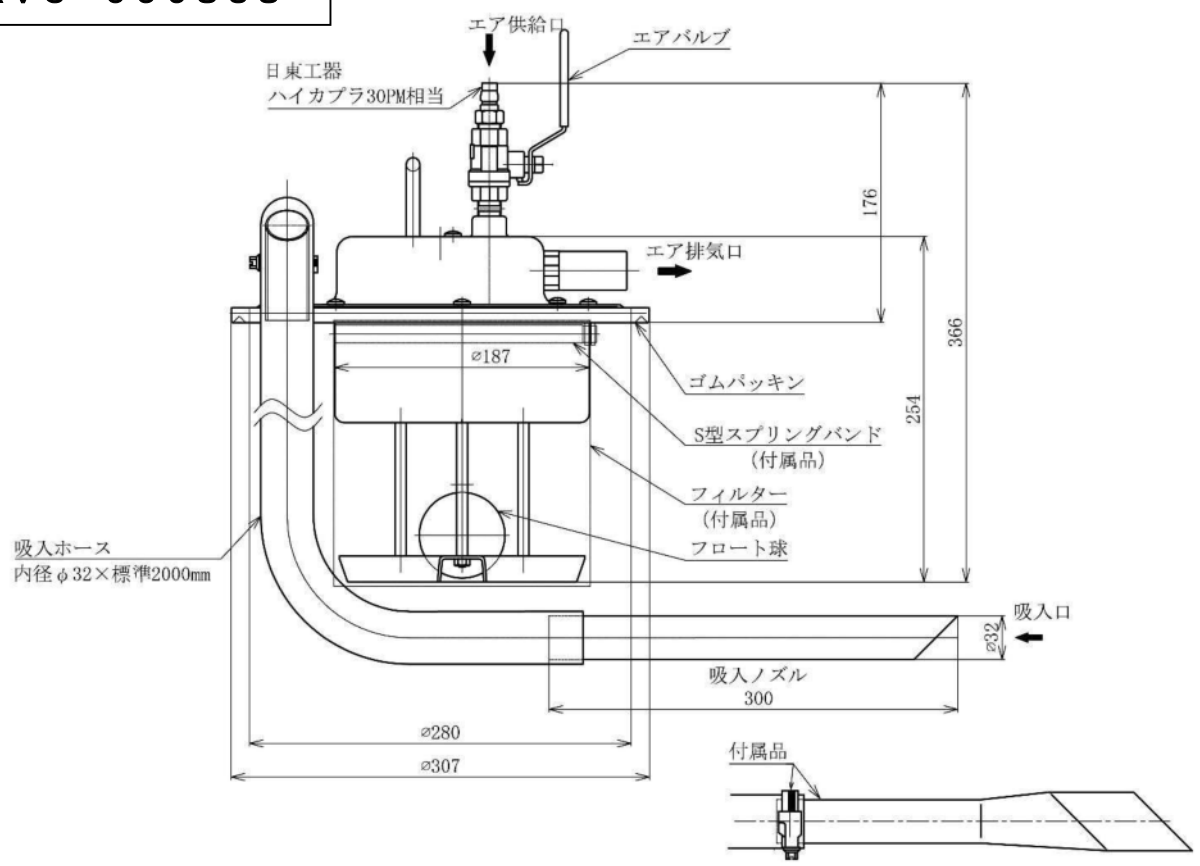
APPQO550



APPQ0550S



AVC-550SUS



7. 保証・アフターサービスについて

この度はアクアシステム製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品管理には万全を期しておりますが、万一、本製品が故障した場合の保証範囲は、次の通りです。

1. 修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番・製造番号・ご購入日などをご確認のうえ、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 下記の場合、ご購入の日から6か月以内であれば、無償にて修理・調整を行います。

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。

※ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。

※また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し交換が必要と判断した部品については有償とさせていただきます。

3. なお、期間外や5項の免責範囲に記載の事項については有償扱いとなります。

また、当社純正部品以外を使用した場合のクレーム及び修理のご依頼などは、お受けできないだけでなく、すべての保証の対象から外れる場合がございます。(他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。)

4. いずれの場合でも、弊社への送料、また返送料はお客様負担となります。

5. 免責範囲(保証期間内でも次に該当する場合は有償となります)

- ① 誤った取扱い(取扱説明書と異なるご使用)により生じた故障。
- ② 弊社以外で修理・分解・改造されたことによる故障。
- ③ 保管上の不備や手入れの不備による故障。
- ④ 購入年月日を証明する書類がない場合(納品書・請求書等)
- ⑤ 使用頻度が著しく多い場合の部品の消耗。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてのご不明な場合は、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ先》
アクアシステム株式会社
【修理受付係】 Tel 0749-23-9123

AQUA アクアシステム株式会社
SYSTEM CO.,LTD. ☎ 0749-23-9123
FAX 0749-23-9122

〒522-0081 滋賀県彦根市京町1丁目3番1号 K1ビル2階

E-mail: aqua@aqsys.co.jp

<http://www.aqsys.co.jp/>

